



ルームランナー（家庭用） DK-730C

取扱説明書



この度は【ルームランナー DK-730C】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

- ◎ ご使用前にこの説明書を最後までお読み頂き、内容をよく理解されてから正しくご使用下さい。
- ◎ 本書の巻末に保証書がついていますので、手近なところに大切に保管して下さい。
- ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
- ◎ 本機は家庭用です。改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。ご了承下さい。
- ◎ 本機は家庭用※として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。

※設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。保証の期間・内容に影響しますので予めご理解下さいますようお願い申し上げます。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承下さい。

安全上の注意事項

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用下さい。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告 -----

- 1) 機器を組み立てて使用する前に、取扱説明書の内容をすべてお読みいただくことをお願い致します。機器を正しく設置し、維持し、使用するだけで、安全にトレーニング効果が得られます。
- 2) 使用者が投薬を受けており、治療や心拍数、血圧、およびコレステロールレベルに影響を与える場合、健康や安全性に基づいて医師に相談してから運動を行って下さい。
- 3) 一般的なトレーニングの際に頭痛、胸の圧迫感、不整脈、息切れ、眩暈（めまい）、吐き気の傾向がある方は、事前に体調ならびに機器の状態を医師へ相談のもと、トレーニングを続けるのに障害がないことを確認した場合にのみご利用下さい。
- 4) 無理をせず、軽い負荷から開始して下さい。急激な運動は体に負荷を与えますので、少しでも異常を感じたら運動を中止して医師にご相談下さい。
- 5) お子様の本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて下さい。
- 6) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方など（心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人工心肺装着の方等々）がご使用の場合、かかりつけの医師にご相談下さい。
- 7) 機器を平らな場所に置いて使用し、床やカーペットの表面の損傷を防ぐために保護マットを敷いて下さい。安全のために、訓練機器と障害物の距離は0.5メートル以上離して下さい。
- 8) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、ネジ・ボルト等の緩みがないか、使用前に点検して下さい。
- 9) 本機を分解・改造しないで下さい。内部点検や修理をする際には当社までご相談下さい。同時に組み立てやメンテナンスのプロセスでノイズが聞こえた場合、また欠陥部品を見つけた場合は当社までご連絡下さい。
- 10) 使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなり且つ安全性を損ないケガをする場合があります。
- 11) 同時に2人以上で乗らないで下さい。人間以外の動物・物を載せないで下さい。



注意

使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後にストレッチ（準備体操）を行って下さい。（トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行う習慣をつけましょう。）
- 2) 食後のトレーニングは差し控えて下さい。（本来胃に流れるべき血液が流れにくくなり、消化に影響を与えます）食後2時間位あけてトレーニングを開始して下さい。
- 3) 本機のご使用時は必ず運動靴を履き、駆動部に巻き込まれる恐れのない（紐等のない）服装でご使用下さい。
- 4) 正しい使用方法以外でのトレーニングはおやめ下さい。
- 5) 本機は家庭用のトレーニング機器として開発しています。それ以外の用途で使用なさらないで下さい。
- 6) 異物を製品内部に入れないで下さい。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります。
- 7) 体重 **100Kg** を超える方はご使用にならないで下さい。
- 8) 60分以上の連続しての使用はなさらないで下さい。

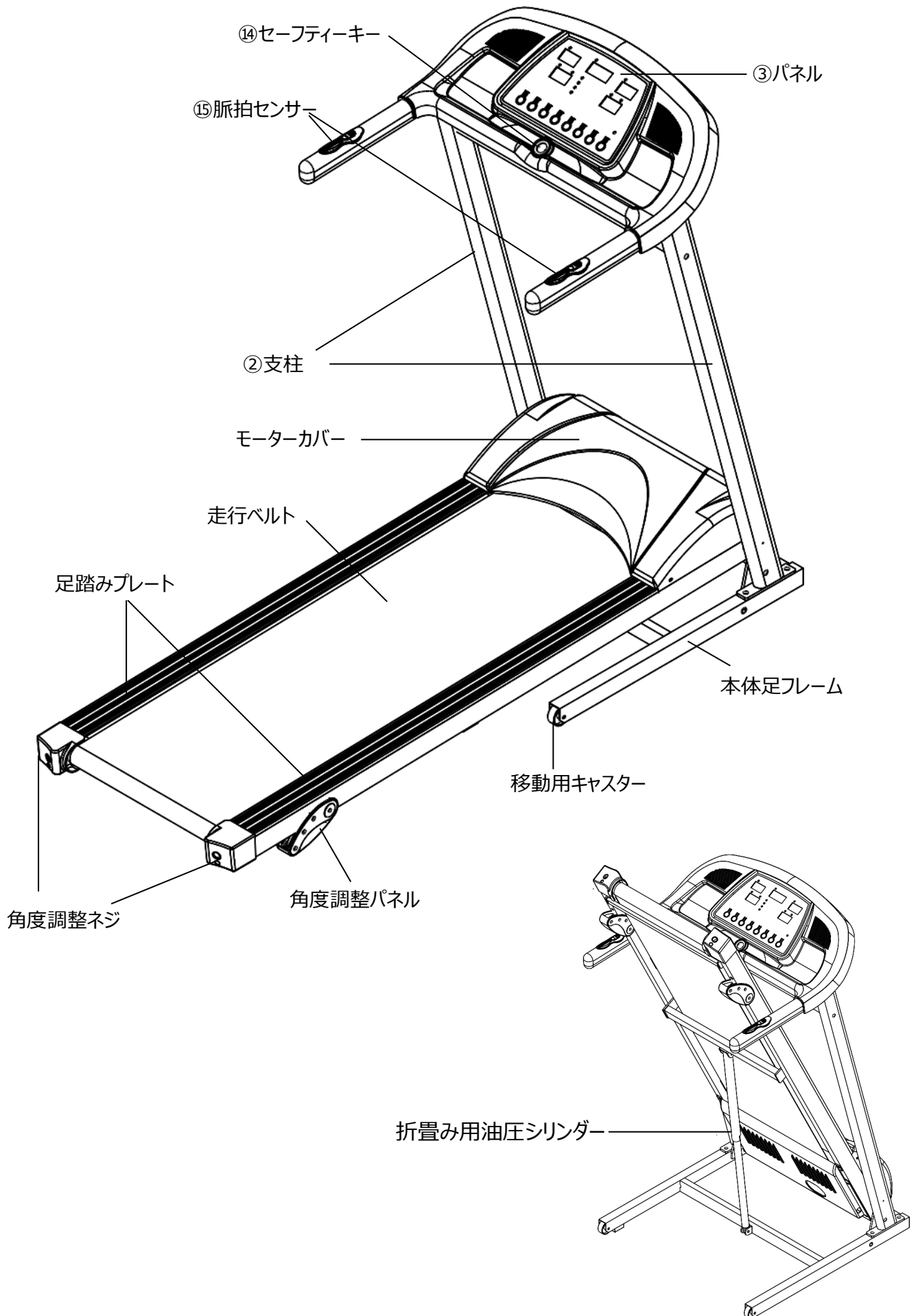
保管上の注意事項

- 1) 幼児が触らないよう安全に管理して下さい。
- 2) ご使用前には結合部分のガタつきや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 3) 使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 4) 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、ご注意下さい。
- 5) 組立ての際に、床を傷つける場合があります。布やカーペットなどを敷くなど、養生で床を保護して下さい。
- 6) 本機ご使用にあたっては、床保護を目的にマットの使用をお勧めします。
- 7) 本機を廃棄する場合は、各自治体の推奨する方法に従って処理して下さい。
- 8) 走行ベルト等当社の定める消耗品は、ご購入日より3ヶ月以上経過した場合、有償となります。
- 9) 次の場所に設置、保管しないで下さい。（サビの発生、メーター等の故障の原因となります）
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く

仕様

品名	ルームランナー（家庭用）	品番	DK-730C
材質構造	スチールパイプ・ABC樹脂・ウレタン等	使用体重制限	100kg
電源	AC100V 50～60HZ	速度	1～16km/h
電源コード(長さ)	2.3m	傾斜(方式)	3段階(手動式)
DC モーター(馬力)	1.5hp(平均) 2hp(最大)	走行ベルトサイズ	116cm×40cm/厚さ 1.4mm
本体サイズ	68cm×153cm×126cm	製品重量	45kg
梱包サイズ (1)	72cm×156cm×26cm	梱包重量 (1)	47kg
梱包サイズ (2)	50cm×125cm× 4 cm	梱包重量 (2)	5 kg
折り畳みサイズ	68cm×78cm×143cm	消費電力	1500W(最大)
目標設定	時間・距離・カロリー	製造国	中国
ハンドグリップ式 心拍測定	有	ハンドルボタン	左：start-stop 右：速度
移動用キャスター	有	折畳油圧シリンダー	有
衝撃吸収クッション	有	静電気防止ベルト	有
緊急停止装置	有		

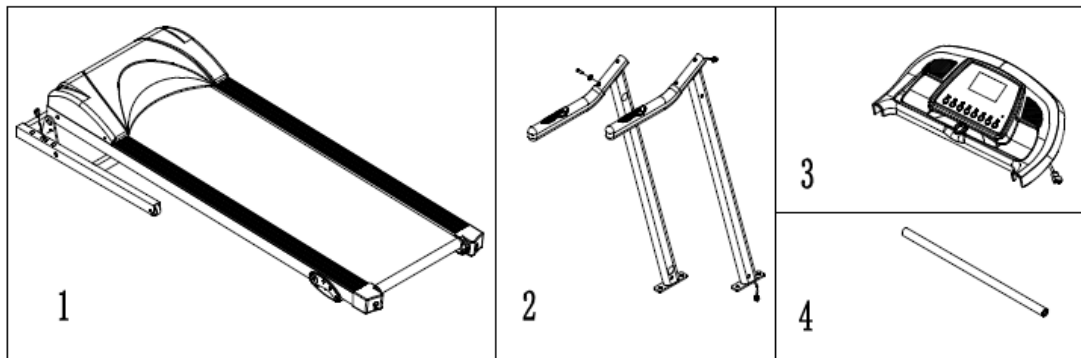
各部名称



部品の一覧表

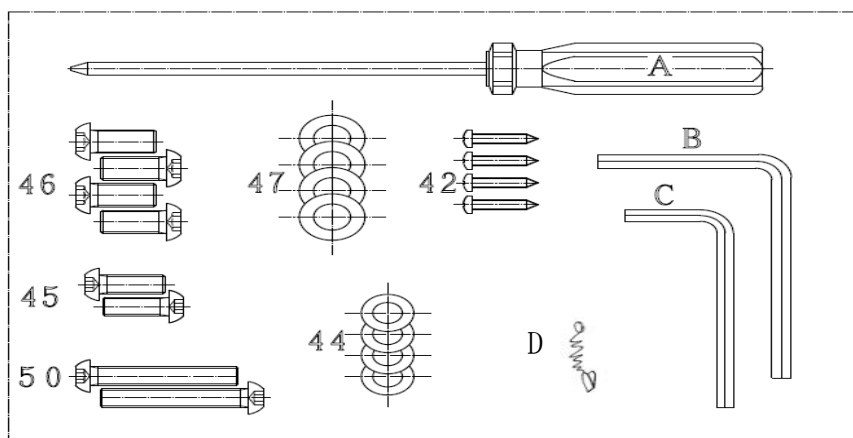
ワンポイント この表には主要なパーツのみ掲載しています。ネジ等の部品は次頁の一覧表にてご確認ください。

Step1～順番に進めながらご確認ください。



No	名称	数量	No	名称	数量
①	本体	1	③	パネル	1
②	支柱	2	④	サポート横棒	1

部品の一覧表



No	名称	数量	No	名称	数量
④②	4.2×20 ネジ	4	⑤①	M8×40 ボルト	2
④④	φ8 平ワッシャー	4	Ⓐ	プラスドライバー	1
④⑤	M8×20 ボルト	2	Ⓑ	5mm 六角レンチ	1
④⑥	M10×20 ボルト	4	Ⓒ	6mm 六角レンチ	1
④⑦	φ10 平ワッシャー	4	Ⓓ	セキュリティーキー	1

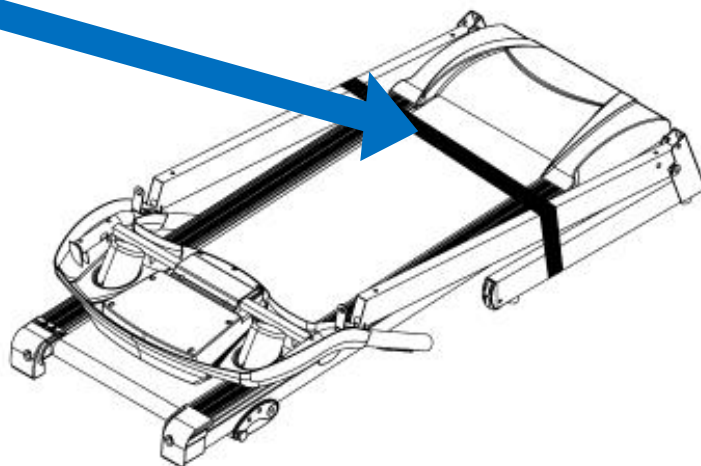
組立手順

■ 組立を始める前のご注意

- ・作業をする前に、部品と必要な道具が全部揃っているかを確認して下さい。
(本体などに仮止めしている場合もございます。ご注意ください。)
- ・開梱及び組立時は、必ず大人 2 名以上で行って下さい。
- ・広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ・本機を箱から出す場合、天地（上下）に注意して開梱し本体が床面と水平になる状態で組立を行って下さい。
- ・バンドは組立が完了するまでは絶対に外さないで下さい。バンドを外しますと本体と脚部フレーム勢いよく開くことがありますので、ご注意ください。
- ・組立時、ボルトは仮締めにして、全体が組み上がってからスパナ(レンチ)で強めに増し締めして下さい。
- ・Step 1 から順番に組み立てて下さい。各パーツに、ボルト類が仮止めされている場合があります。
尚、出荷時点で仮止めしたボルト類が、欠落しているケースが散見されます。梱包の内側もご確認下さいますようお願い致します。
- ・本体に仮止めしてあるネジ類を外す必要がある場合は、その部位の作業工程の直前に外して下さい。
先に外してしまうと、どの部分のネジなのか判別がつきにくい場合がありますのでご注意ください。

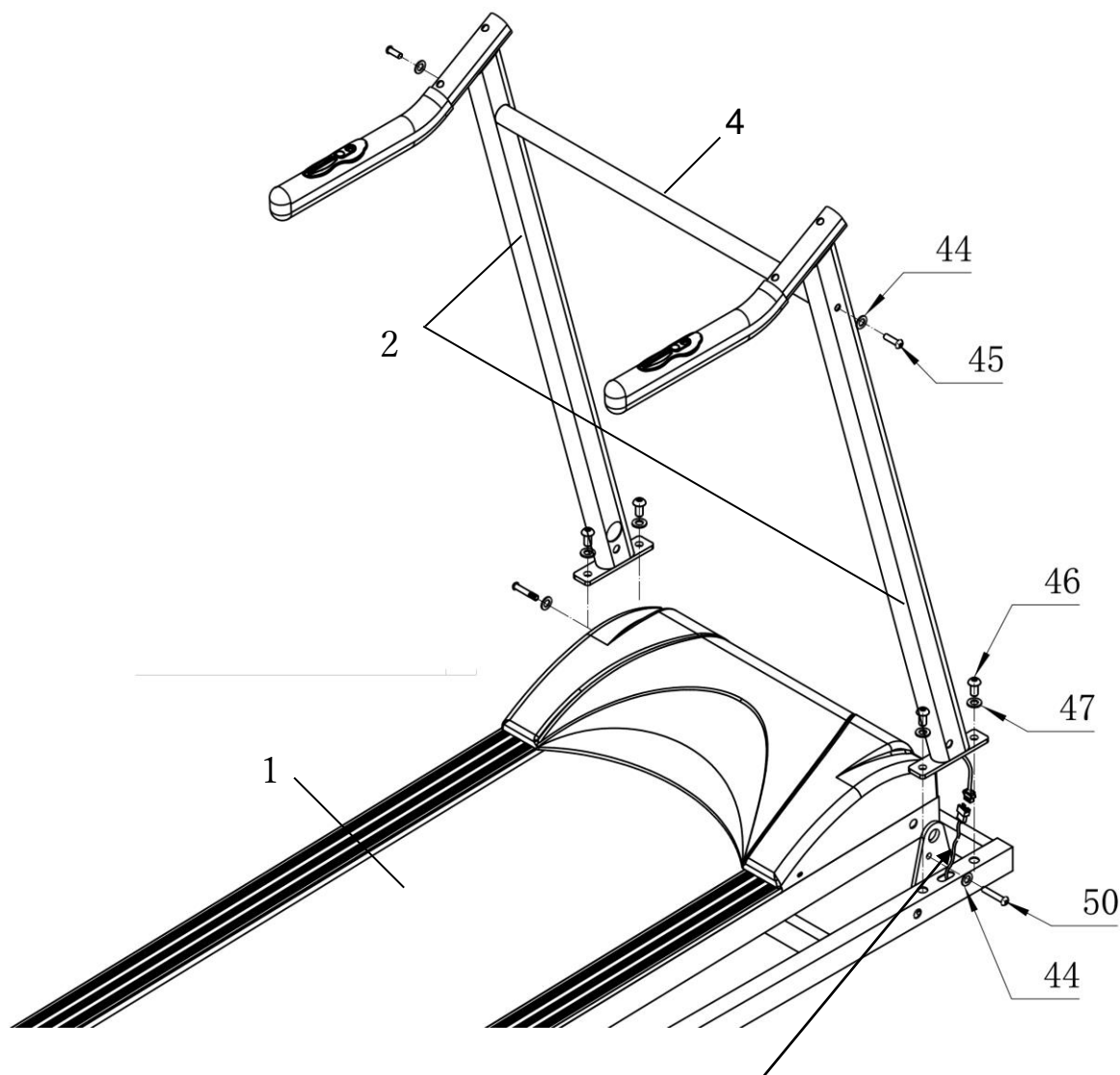
このバンドは設置場所が確定し、組立が完了してから外して下さい。

(本体画像はイメージです。)



Step1 ▶ 本体と支柱の取り付け方法

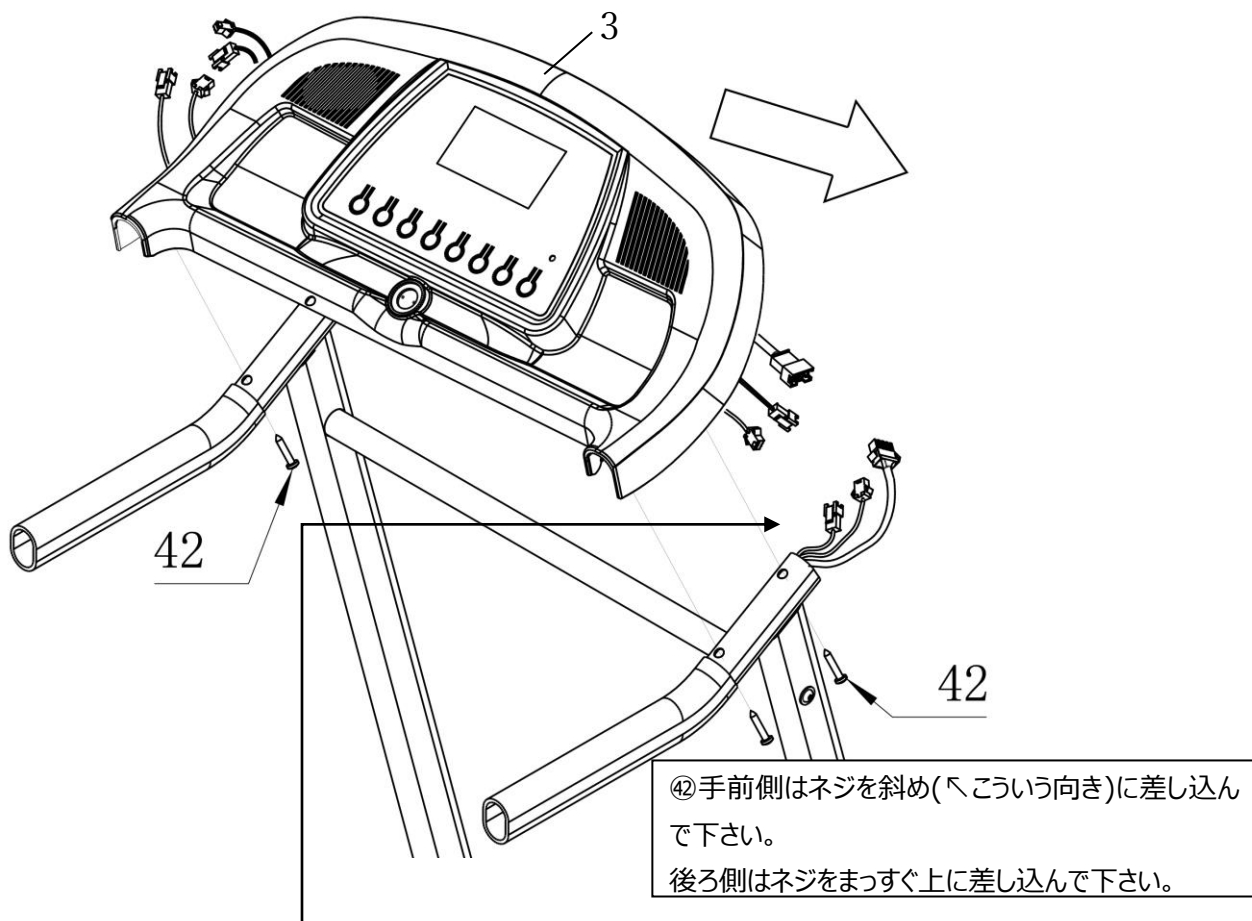
1. 【① 本体】から出ているコネクタと【② 左右の支柱】から出ているコネクタを接続します。
(コネクタは同じサイズのを接続して下さい。)
2. 【④ φ8平ワッシャー】と【⑤ M8×20ボルト】で【④ サポート横棒】を【② 左右の支柱】の間に固定します。
※支柱を取り付ける際に、**メインコードに傷をつけない**ようにご注意ください。
※ボルトを1ヶ所ずつ締め付けるのではなく、全てのボルトを本体に差し込み、差し込みを終えた後、締め付けを行って下さい。
※全てのボルトを差し込まずに締め付けを行った場合、穴がずれている状態になります。
この場合、全てのボルトを一旦取り外し、改めて差し込みし直して下さい。
3. 【④ φ8平ワッシャー】と【⑤ M8×40ボルト】、【⑥ M10×20ボルト】と【⑦ φ10平ワッシャー】で【② 左右の支柱】を【① 本体】に固定します。



この部分にメインコードが入っていますので、支柱を取り付ける際にコードを傷つけないようにご注意ください。
(誤動作やパネルが点灯しない恐れがあります。)

Step2 ▶ 本体とパネルの取り付け方法

1. 【② 左右の支柱】にパネルを乗せ、パネルから出ているコネクタと支柱から出ているコネクタを接続します。
(コネクタは同じサイズのを接続して下さい。)
2. その後、【④ 4.2×15ネジ】で、【③ パネル】を【② 左右の支柱】に固定します。



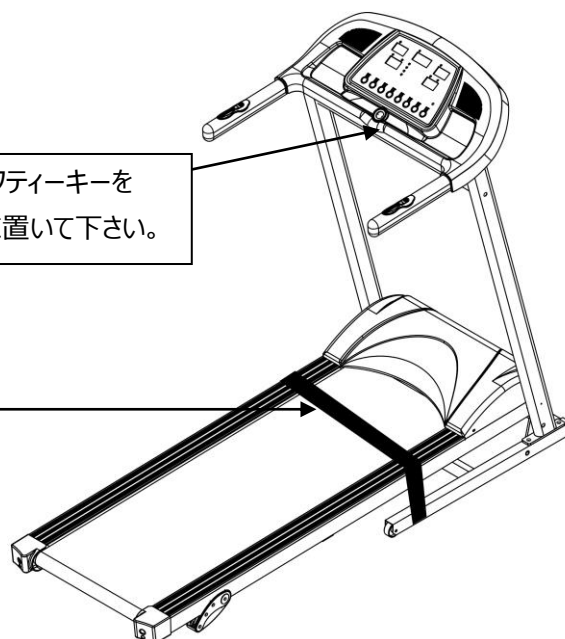
この部分にメインコードが入っていますので、パネル部を倒す際には、絶対にコードを挟まないようにご注意ください。
(誤動作やパネルが点灯しない恐れがあります。)

3. 最後に本体についているバンドを外して下さい。

この状態で、電源コードをコンセントにつなぎ、パネルが点灯するかを必ず確認して下さい。

セーフティーキーを
パネルに置いて下さい。

バンドをカッター等の刃物で切る場合は、
走行ベルトに傷をつけないように
十分ご注意ください。

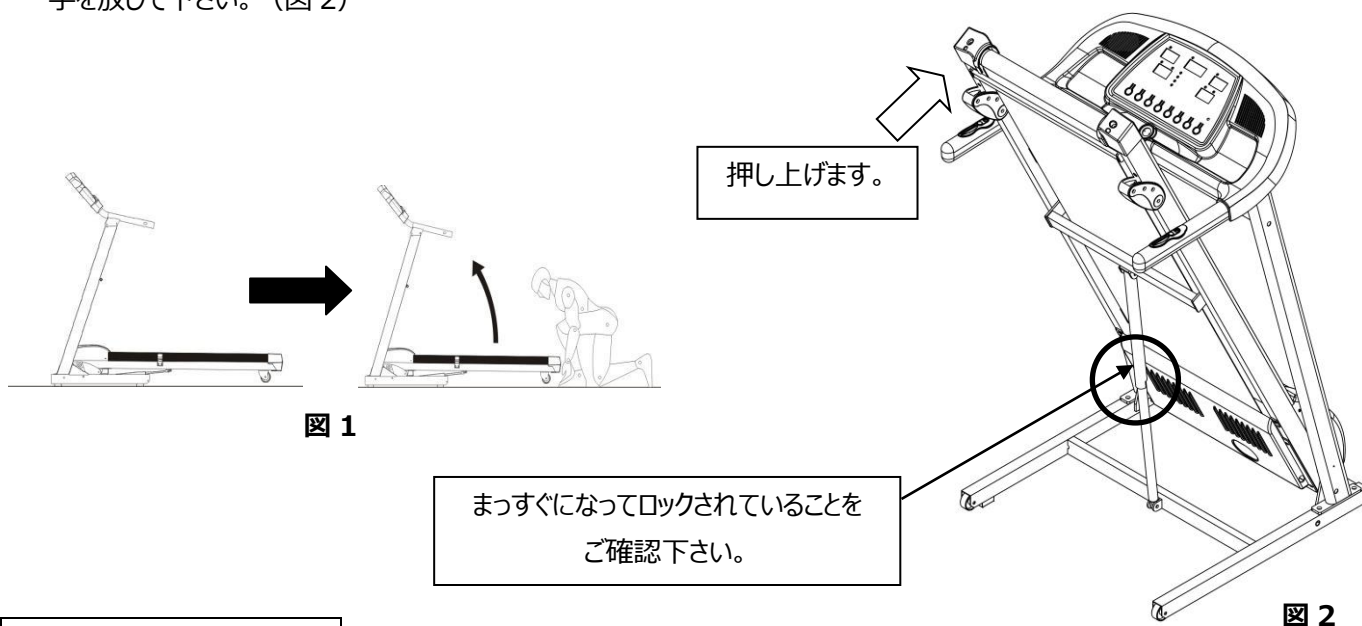


折りたたみ方法と折畳み解除方法

本機の折り畳みとその解除を行う際、必ず床面が平坦であり、障害物に乗り上げていないことをご確認下さい。
本機の水平が保たれていない場合、突然倒れ、破損やけがを負う恐れがあります。

折りたたみ方法

1. 本体が平らな状態であることを確認して下さい。(図 1)
2. 電源コードをコンセントから抜き、両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて下さい。(図 1)
3. 走行部分を押し上げ油圧シリンダーがまっすぐになるところまでロックさせ、ロックが確実にされていることを確認してから手を放して下さい。(図 2)



折りたたみ解除方法

1. 本体が平らな状態であることを確認して下さい。
2. シリンダーの中心部を軽く足で押しながら解除します。解除した時、本体を軽く手前に引いて下さい。
(解除できない場合は本体を少し押しながら解除して下さい。)
3. 手で本体を支えながら、下までゆっくりと降ろして下さい。
※強く押ししたり、足で蹴ったりすると破損の原因になりますので、絶対におやめ下さい。

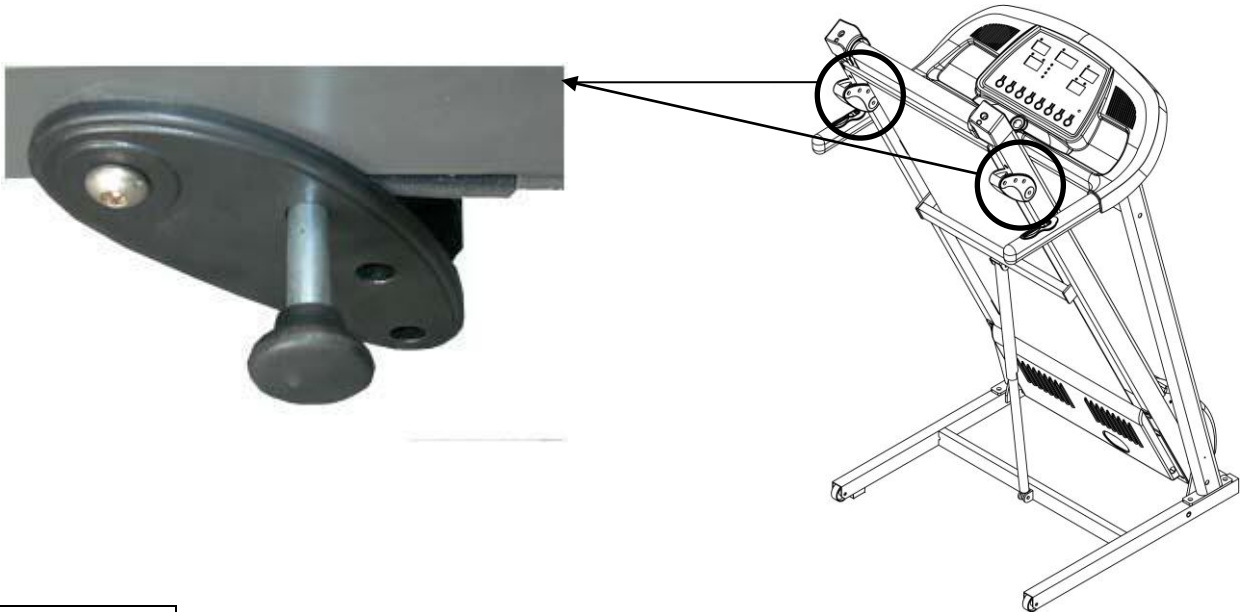


角度調整機能と移動方法

角度調整方法

本体後部の左右角度調整装置のピンを3つの穴に差し替えることで3段階の角度調整ができます。その日のトレーニングに合わせて、フラットな傾斜から走行面に傾斜をつけることで負荷を高めて、より効果的なトレーニングができます。

※ピンの位置は必ず左右同じところに差すようにして下さい。



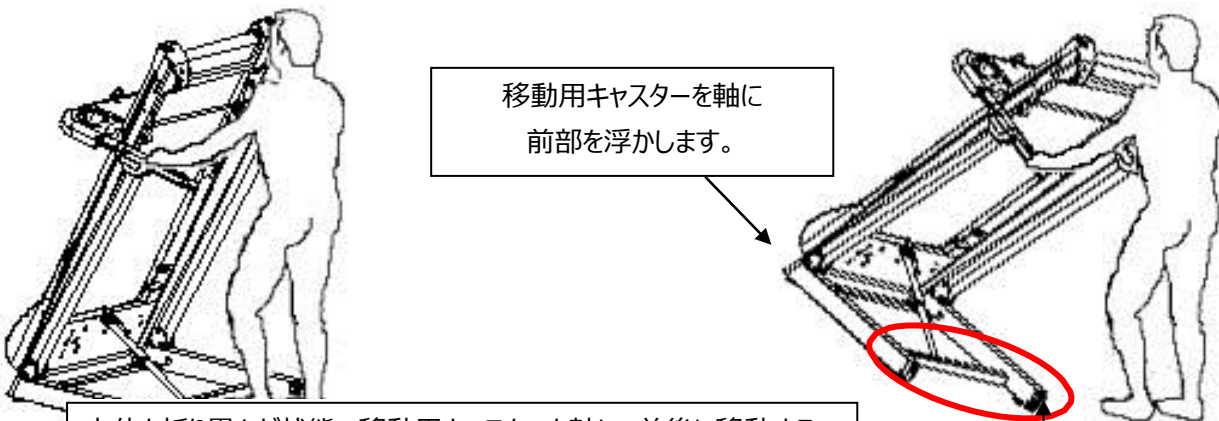
移動方法

本機の移動を行う際、必ず床面が平坦であり、障害物が周りがないことを確認してから行って下さい。

本機は重量がありますので、床に傷がつくことがあります。

移動の際には敷物等をご用意下さい。

※体力等に自信のない方は危険ですので、2人以上で行うことをおすすめいたします。



本体を折り畳んだ状態で移動用キャスターを軸に、前後に移動することが可能です。

※移動用キャスターを軸に移動しないと、本体下のクッションや本体を破損する恐れがありますので、十分ご注意下さい。

イメージ図

起動方法と終了方法

起動方法

1. 本機を折り畳んでいる場合、安全を確保してから折り畳みを解除し、トレーニングできる状態にして下さい。
2. 電源コードをコンセントの奥までしっかりと差し込んで下さい。
3. 電源コードを延長コード等、中継させるものできるだけを間に入れずに直接コンセントに差し込んで下さい。
4. 電源スイッチを入れて下さい。
5. ベルト脇の左右足踏みプレート中央部に乗り、メーター中央下部にある凹部に重なるようにセーフティーキーを置いて下さい。
6. セーフティーキーの紐についているクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎないように結ぶなどして調整して下さい。
スピードについていけないときなどに紐のたるみがなくなり、セーフティーキーが外れることにより、走行ベルトが自動的に止まり、全ての動作が停止します。
セーフティーキーが外れると警告音が鳴ります。
7. 運動目的に合わせパネルの操作方法を参考に設定し、トレーニングを開始して下さい。

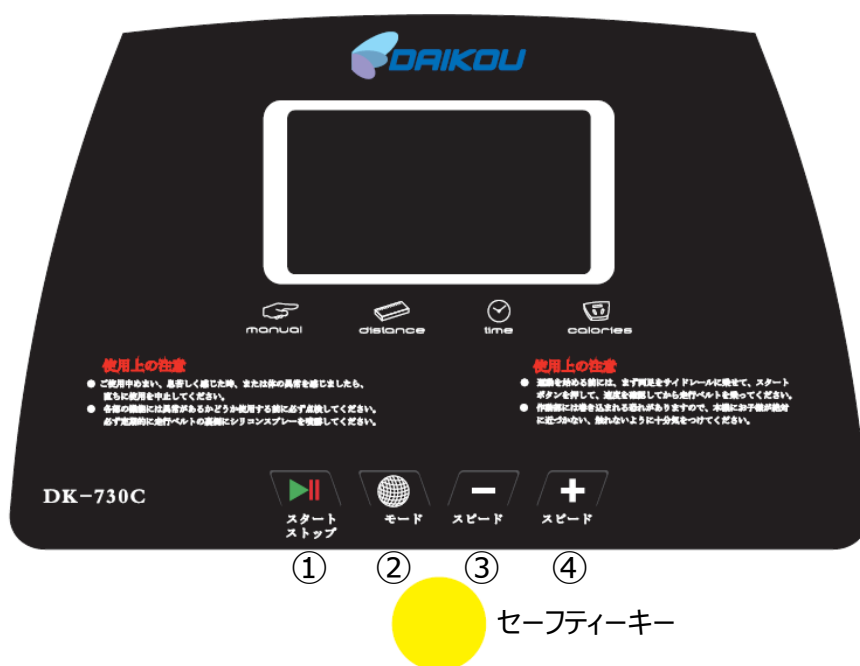
終了方法

1. トレーニングを終了する場合、安全のためベルト脇の左右足踏みプレートに乗って下さい。
2. **ストップボタン**を押して、走行ベルトを停止させて下さい。
(セーフティーキーを外して停止させないで下さい。故障の原因になります。)
3. 安全に本機より降り、足元のメインスイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。

※電源を入れた状態で放置しますと、故障の原因になります。

運動終了後はすみやかにスイッチを切り、コンセントから電源コードを抜くようにして下さい。

パネルの使用方法



パネルのボタンの説明

- ① スタート/ストップ [START/STOP] 走行ベルトの作動と停止を行います。
- ② モード[MODE] マニュアル〔MANUAL〕・時間〔TIME〕・距離〔DIS〕・カロリー〔CAL〕目標設定プログラム、「P 1～P 12」のプログラムの選択を行います。
- ③ スピード [TIME] 走行ベルトの速度を減速させます（-0.1km/h単位）、押し続けると速度が徐々に減速します。
- ④ スピード [TIME] 走行ベルトの速度を加速させます（+0.1km/h単位）、押し続けると速度が徐々に加速します。

ハンドルのボタンの説明

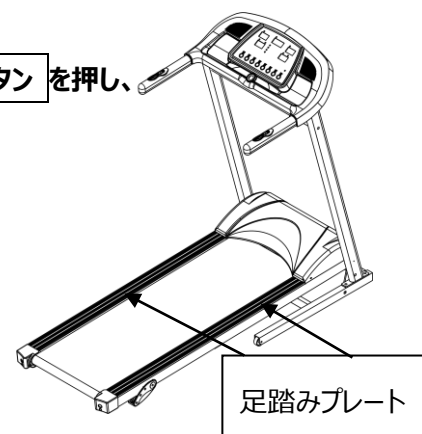
- 右ハンドル
スピード ・ 走行ベルトの速度を加速・減速させます（-0.1km/h単位）、押し続けると速度が徐々に減速します。
- 左ハンドル
スタート/ストップ 走行ベルトの作動と停止を行います。

表示の説明

- スピード〔SPEED〕 走行ベルトの速度（0.1km/h単位）と「P 1～P 12」が表示されます。
- 時間〔TIME〕 0～99:59まで表示します/目標設定時は、残りの時間が表示されます。
- 距離〔DIS〕 0～99.9kmまで表示します/目標設定時は、残りの距離が表示されます。
- カロリー〔CAL〕 0～999Kcalを表示します。/目標設定時は残りのカロリーが表示されます。
- 心拍数♡〔PUL〕 両ハンドルの脈拍センサーを同時に握ったときに簡易心拍数が表示されます。
脈拍入力がない場合、パネルには が表示されます。
- プログラム [MANUAL]－距離〔DIST.〕－時間〔TIME〕－カロリー〔CAL.〕－P1－P2－P3－P4－P5－P6－P7－P8－P9－P10－P11－P12が表示されます。

使用方法について

- ※ **スタートボタン** を押す前に、必ず足踏みプレートに足を乗せてから **スタートボタン** を押し、走行ベルトが動いているのを確認してからトレーニングを始めて下さい。



■ マニュアルプログラム

スタートボタン を押した後、3 秒後に走行ベルトが動き出します。
走行ベルトが動き出したのを確認してからトレーニングを始めて下さい。
スタート速度は 1.0km/h となります。

〔運動中の調整〕

速度を調整するには・・・パネルまたは右ハンドルのスピード **+**・**-** を 1 回押すことで「0.1km/h」ずつ変化します。

(ボタンを押し続けると速度が徐々に変化し続けます。

トレーニングを終了するときは、必ず **ストップボタン** を押して終了して下さい。

■ 目標距離設定プログラム

電源をオンにします。

モードボタン を押し距離〔DIST.〕を選択すると、距離欄に「03.0KM」が点滅します。

スピード+ボタン と **スピード-ボタン** を押して数値を増減させ、目標距離をセットします。**スタートボタン** を押すと走行ベルトが動き始めます。

スタート速度は 1.0km/h となります。

カウントダウンで“0”の位になった後、約 9 秒前後で終了します。

■ 目標時間設定プログラム

電源をオンにします。

モードボタン を押し時間〔TIME〕を選択すると、時間欄に「30:00」が点滅します。

スピード+ボタン と **スピード-ボタン** を押して数値を増減させ、目標時間をセットします。**スタートボタン** を押すと走行ベルトが動き始めます。

スタート速度は 1.0km/h となります。

カウントダウンで“0”になりますと終了します。

■ 目標カロリー設定プログラム

電源をオンにします。

モードボタン を押しカロリー〔CALO〕を選択すると、カロリー欄に「100」が点滅します。

スピード+ボタン と **スピード-ボタン** を押して数値を増減させ、目標カロリーをセットします。**スタートボタン** を押すと走行ベルトが動き始めます。

スタート速度は 1.0km/h となります。

カウントダウンで“0”になりますと終了します。

■ 速度自動変化プログラムの設定方法

1. ストップの状態では「モードボタン」を押して、「マニュアル」→「距離」→「時間」→「カロリー」の後に表示される、「P1～P12」のお好みのプログラムを選択します。
2. プログラム欄に「P1～P12」の運動時間が順番に表示されます。
3. 「スタートボタン」を押すと走行ベルトが動き出します。

※「P1～P12」の各プログラムは、「+」と「-」ボタンを押して数値を増減させ、

目標時間を入力することができます（時間設定範囲:8:00～99:00）

設定された時間に応じて、プログラム内容が10段階に均等に分割されて作動をします。

各段階が終わると「ピッピッ」という音でお知らせします。

※プログラム使用中には、速度の自動変化がありますので、ご使用中に転倒などがないようくれぐれもご注意ください。
（速度の変化状況は下の通りとなっております。）

■ データ設定範囲

項目	初期	初期設定数値	設定範囲	表示範囲
時間(分:秒)	0:00	20:00 TIME mode	5:00～99:00	0:00～99:59
スピード(km/h)	0.0	N/A	1.0～16.0	1.0～16.0
距離 (km)	0.0	3.0	0.5～99.9	0.0～99.9
心拍数 (bpm)	0	N/A	N/A	40～199
カロリー (calories)	0	100	5～999	0～999

■ P1～P12 速度自動変化状況

段階 プログラム/速度		段階									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
P1	速度	1	2	2	3	3	3	3	2	2	1
P2	速度	1	2	2	3	4	4	3	2	2	1
P3	速度	1	2	2	3	4	4	3	2	2	1
P4	速度	1	2	2	3	3	3	3	2	2	1
P5	速度	1	2	2	3	4	4	3	2	2	1
P6	速度	1	2	2	4	4	6	4	2	2	1
P7	速度	2	3	4	6	6	9	6	4	4	2
P8	速度	1	2	2	4	4	9	9	9	8	4
P9	速度	2	3	3	6	6	9	6	3	3	2
P10	速度	1	2	2	4	4	4	4	6	4	3
P11	速度	2	4	4	6	6	6	6	9	4	1
P12	速度	1	3	3	6	9	6	9	9	6	4

保守運用について

走行ベルトの調整

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで引き、張りを持たせることで走行をさせています。現在ご使用になっている状態で足踏みプレート等にあたっていない場合には、現状で使用をお続けになって下さい。もし、下記のような症状があった場合に、ベルトの調整を行うことをお勧めいたします。

*** 注意：ベルト調整をする場合、3～5km/h の速度で調整をして下さい。その際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると、急激にベルトが偏りベルトを破損する恐れがありますので、慎重に調整を行って下さい。**

■ 使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 3 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがないかを確認して下さい。
- 4 まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

■ ベルトが持ち上がらない（縦に指2本程度入らない）場合

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 3 ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
- 4 まだベルトが持ち上がらない場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

■ ベルトが右側の足踏みプレート等にぶつかっている場合

- 1 本機を起動させクイックプログラムでスタートをし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 右調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。)

- 3 ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

■ ベルトが左側の足踏みプレート等にぶつかっている場合

- 1 本機を起動させクイックプログラムでスタートをし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

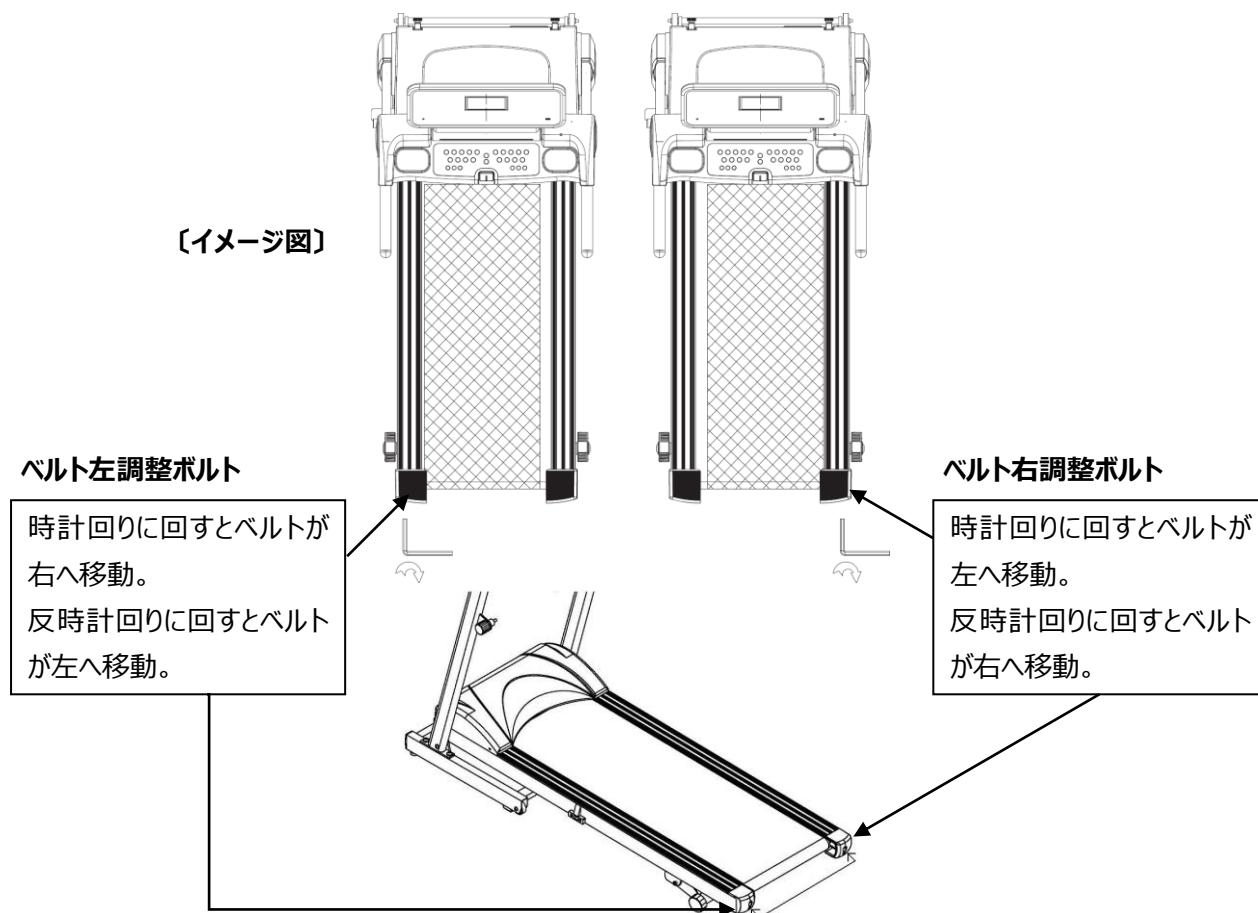
(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。)

- 3 ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが左によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

■ ベルト調整の注意点

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転をすれば調整は完了です。

ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行って下さい。



潤滑剤（シリコンスプレー）の補充

本製品の走行板(走行ベルト下の板)には工場出荷時に潤滑剤が塗布されていますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大し、ベルトの消耗が激しくなる・モーターの寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を維持できなくなりますので定期的に清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

■ 潤滑剤使用の目安

〔ご購入後の初期段階の噴霧目安〕

- 工場出荷時に潤滑剤が走行板に塗られています、ご使用により効果が徐々に無くなってきます。
ご購入後、シリコンスプレーをホームセンター等でご購入頂き、1ヶ月くらい経過したら、噴霧するようにして下さい。

〔上記以後の噴霧目安〕

- 2週間以上ご使用のない場合は、運動前に走行面等のホコリを取り除いてから、必ず噴霧して下さい。
- 最低でも1ヶ月に1度以上は噴霧することを心がけて下さい。

■ 潤滑剤の使用方法

走行ベルトの中ほどの左右どちらか片側の端をつまみ上げボード全体に噴霧して下さい。

※ 注意 潤滑剤を多量に噴霧するとベルトの作動にかえて悪影響（ベルトが滑る）を与えます。

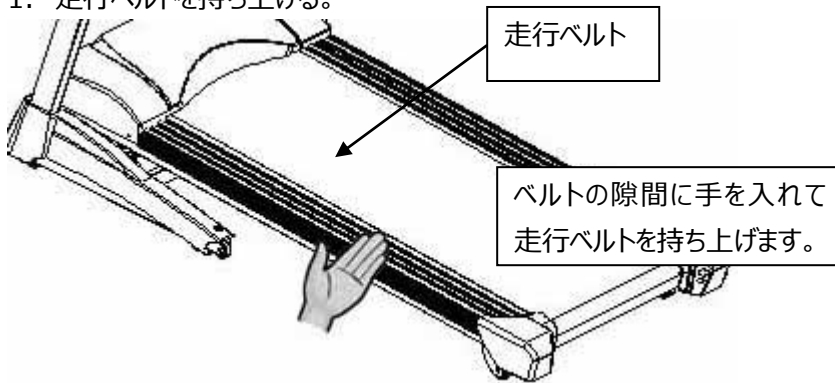
※ 注意 KURE556 等機械油を潤滑油代わりに使用しますとかえて滑りを悪くします。

使用頻度が多い場合には回数を多めにするようにして下さい。

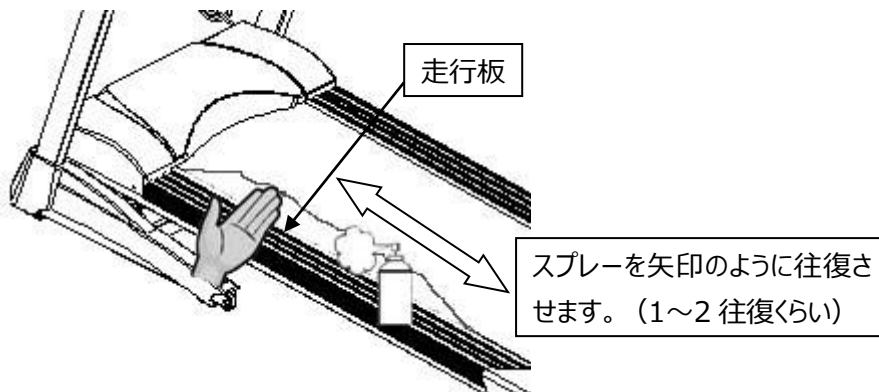
潤滑剤（シリコンスプレー）の噴霧の方法

シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行って下さい。

1. 走行ベルトを持ち上げる。



2. 持ち上げた状態で、スプレーを走行板に噴霧します。



3. 反対側からも同じように行います。

※シリコンスプレーに付属している細いノズルをつけて噴霧すると、より効果的です。

〔シリコンスプレーを噴霧するときの注意点〕

- ・シリコンスプレーのつけすぎには注意して下さい。（つけすぎの場合、ベルトが空回りしてしまいます。）
- ・前後のローラーにかからないようにして下さい。
- ・走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないで下さい。
- ・シリコンスプレーを噴霧するときには、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから、噴霧するようにして下さい。

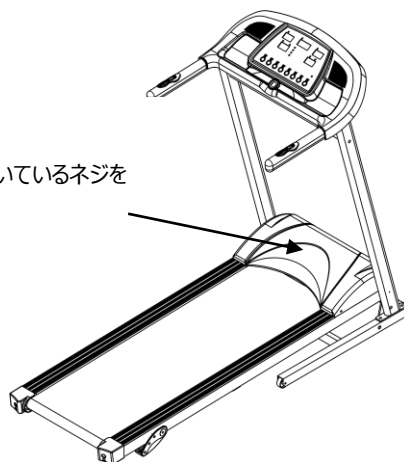
シリコンスプレーはお近くのホームセンター等でご購入して下さい。

※ 1年に1回以上はモーターカバーをあげ、モーターカバー内のほこり等を掃除するようにして下さい。

その際、電源コードをプラグから抜いた状態で行って下さい。

モーターカバー

市販のドライバーでカバーについているネジをまわして取り外して下さい。



清掃をする際は、電源コードをコンセントから抜いて下さい。抜かないで行うと思わぬ事故につながります。

消耗品のご購入

パーツのお求めや修理のご連絡は、大広株式会社までお問い合わせ下さい。

フリーダイヤル：0120-25-1622 携帯電話・PHS:03-5652-5056

受付時間：平日午前 10～12 時ならびに午後 1～5 時まで

製品メンテナンス

- 製品の美観を保つために、汚れや汗などは中性洗剤を薄めて含ませた布で拭き、その後乾いた布等でふき取って下さい。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないで下さい。
- パネルの汚れや汗は、乾いた布で拭き取って下さい。
- ペダルの緩みなど、マシン各部位のボルト類に緩みが無いか常にチェックして、正常を保って下さい。

連続使用時間について

<使用時間を守って下さい！>

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守って下さい。

- 連続使用時間は **60 分**までです。

- 次に使用するときには、先に使った時間の **倍以上** のインターバルを取って下さい。

(例：30 分間使用⇒60 分間以上マシンを休ませる。足元のメインスイッチも切って下さい。)

- 一日の総使用時間の限度は 3 時間までです。

※マシンを長くご利用頂くために、走行板へのシリコンスプレーを噴霧等、定期的なメンテナンスも忘れずに行ってください。

トラブルが起きたら

このようなエラーコードや症状がおこった場合は、故障と判断される前に表の対処方法をご確認下さい。

エラーコード	意味	内容	対策
Er1	接続不具合エラー	主に各接続コネクタに不具合（接続不良・断線等）の可能性がある モーター、モーター基盤の故障が考えられる	接続コネクタの検査 基盤の交換、パネルの交換、 変圧器の交換、他
Er2	モーター故障/ 基盤故障エラー	・延長コードの使用をやめる ・モーターの接続コネクタに不具合（接続不良・断線等）の可能性がある。	基盤の交換 モーターの交換
Er3	速度センサーエラー 走行ベルトが動かない	・走行ベルトの運行に妨害があるかを確認 ・速度センサーの接続を確認 ・速度センサー自体の故障が考えられる	速度センサーの交換 基盤の交換
Er5	過電流エラー	負荷超過があるかどうか確認	基盤の交換
Er8	コード接続エラー	コード類の接続、端子の折れを確認 問題の無い場合は基盤の可能性	メインコードの交換 基盤の交換

故障かなと思ったら

症状	原因	対処方法
動かない パネルが表示しない	① 電源プラグが差し込まれてない ② 電源スイッチをオンにしていない ③ セーフティーキーが外れている ④ 接続コネクタが外れている ⑤ メインコードが断線している	① プラグをコンセントに差し込んで下さい ② 電源スイッチをオンして下さい ③ セーフティーキーをパネルに置いて下さい ④ コネクタの接続を確認して下さい ⑤ パーツの交換が必要になります
走行ベルトがあたっている	走行ベルトを調整していない	走行ベルトを調整して下さい
急に止まった	① セーフティーキーが外れている ② ベルトがたるんで空回りしている ③ ベルトの摩擦が多い	① セーフティーキーをパネルに置いて下さい ② ベルトを張り直して下さい ③ シリコンスプレーを噴霧して下さい
画面から文字が消えた	① 乾燥した場所等でのご使用の場合、静電気の可能性が考えられます ② モーター基盤の故障も考えられます	① 電源を一旦 OFF にしてから、静電気防止スプレー等を走行ベルトやパネル周りに噴霧して下さい。脈拍センサーや液晶付近を触らないようにして運動を行って下さい。 ② パーツの交換が必要になります。
走行中空回りや、一種運 止まったような気がする	① 走行ベルトがたるんでいる ② モーターベルトがたるんでいる ③ シリコンスプレーの塗りすぎ	① 走行ベルトを調整して下さい ② モーターベルトを調整して下さい ③ ペーパータオル等で拭いて下さい
モーターが熱くなる	① 長時間使用した ② 寒さでベルトが縮んだ ③ ベルトの摩擦が多い	① 30分以上操作しないで下さい ② ベルトをゆるめて下さい ③ シリコンスプレーを噴霧して下さい
本体下に粉が落ちる	・走行ベルト・モーターベルトがなじんできている ・靴底のラバーがこすれている	本体の下を定期的に清掃する
音がする	① ガタツキ・キシミ音がする ② ローラーから音がする ③ ベルトの擦れたような音がする	① 音が出ている箇所を確認し、ネジを締め直して下さい ② ローラー軸の部分に機械油を吹き付けて下さい ③ ベルトがどこにあたっているかを確認し、走行ベルトを調整して下さい
コンセントを差し込むと火 花が出る	スイッチが入っている	スイッチを切ってからコンセントを差し込んで下さい。
走ると「キュッキュツ」と音が する	前ローラー・モーターベルトに埃がたまっている	前ローラーの付け根部分にグリス等の機械油を吹き付けて下さい。 モーターベルト、前ローラーを乾拭きして、埃等を取り除いて下さい。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	ルームランナー（家庭用）DK-730C
保証期間	ご購入日より1年間
ご購入日	年 月 日
お名前	
ご住所	
T E L	- -

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、本書（もしくは当社から発送した年月日を示す証票）をご提示下さい。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・使用環境にともなうサビ・塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 取付場所の床面の損傷
 - 本保証書の添付のないもの
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 家庭用以外に使用した場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換します。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品についての運賃、組み立て、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票控や購入日が証明できるもの等がある場合はその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

開発販売保守 大広株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4 2F

TEL : 03-5652-5056 / FAX : 03-5652-5078

受付時間（平日 AM10:00~12:00

PM1:00~5:00）

フリーダイヤル : 0120-25-1622

携帯電話・PHS:03-5652-5056

受付時間 : 平日午前 10~12 時・午後 1~5 時まで